

拠出金名:国際赤十字・赤新月社連盟拠出金

国際機関等名	国際赤十字・赤新月社連盟 (英文名称・略称) Internaional Federation of Red Cross and Red Crescent Societies (IFRC)				
種別	国連(事務局)	国連(基金・計画)	国連専門機関	その他	
所管官庁担当局課名	外務省国際協力局緊急・人道支援課				
最近3年間の我が国支払額及びODA率					
単位	邦貨 (千円)	外貨1 (千ドル)	外貨2 (千)	レート	ODA率(%)
平成21年度	278,100	2,700		1米ドル= 103円	100
平成20年度	226,000	2,000		1米ドル= 113円	100
平成19年度	-	-		-	-
当該拠出金の目的・用途等	事業費				
拠出上位5ヶ国・地域・機関等 (2009年のもの)				国際機関等の財政 (2009年度決算)(千スイスフラン)	
	国名	金額 (千スイスフラン)	拠出率(注) (%)	当該年度の収入	388,122
1位	米国	57,800	21.0	当該年度の支出	476,780
2位	スウェーデン	30,700	11.0	次年度への繰越	-88,658
3位	EC	23,200	8.0	会計検査機関名	
4位	英国	21,200	8.0	KPMG	
5位	ノルウェー	20,900	8.0		
上記数値は、政府、赤十字社、民間の拠出総計。日本は7位、拠出率は6%					
当該機関等に対する我が国としての評価 (合理化、機能強化のための改革が行われているか、当該機関等の政策に対する我が国の意見の反映度を含む)					
IFRCは、各国赤十字・赤新月社の国際連合体であり、自然災害・緊急災害時の被災者に対する救援活動を主な任務としている。災害時に各国赤十字・赤新月社間の調整や国際救援活動の指揮にあたる他、各国社の人道機関としての能力強化のための開発協力を実施。2008年の中国四川省地震や2010年のハイチ大地震においても、人道支援活動に指導力を発揮し、我が国赤十字社を含む各国赤十字・赤新月社間の調整、これら各国社との協力の下、被害者の救援に大きな役割を果たしている。また、2009年11月には近衛忠輝日本赤十字社社長が会長として選出され、国際人道支援分野における協力関係の更なる促進が期待される。 なお、2007年7月には、ジュネーブの本部内の5つの地域部を廃止し、ゾーン事務所を世界7カ所に設置することにより、事業の合理化を図っている。					
邦人職員数 うち幹部以上	11人 うち 0人	当該機関全体の職員数 及び邦人職員が占める率	633人 1.7%		
邦人職員が占めている幹部ポスト					
ポストの名称		職員氏名		備考	
当該機関重要ポストへの邦人職員送り込みについての具体的な計画					
IFRC職員の多くは各国の赤十字・赤新月社からの出向者であり、日本赤十字社も手弁当で職員を派遣しているところ、日本赤十字社と連携を密にし、派遣を支援する。					

(注)我が国と各国とは会計年度が異なるため、拠出率については暦年となっている。